

広聴広報特別委員会

陸前高田市議会基本条例では、「市民の意見、要望を適格に把握」「市民への積極的な情報発信と説明責任」が明記され、広聴広報特別委員会は、議会だより発行以外の広聴広報活動を行います。

議会報告会は、昨年に引き続き市内11地区での毎年開催を再開します。また、各種市民団体、産業団体や、学生との懇談会の開催を検討し、多彩な議会報告会を計画しています。参加した方々が積極的、活発に発言できるように、少人数分けしたグループワーキングなどの方法についても現在検討中です。寄せられた意見、要望は、市長に申入れるとともに議会活動にも反映していきます。

委員長 藤倉泰治、副委員長 木村聡、委員 佐々木一義、大坂俊、大坪涼子、福田利喜、伊藤明彦
(藤倉広聴広報特別委員長)



議会だより特別委員会

これまで、広聴広報特別委員会内の小委員会として議会だよりを発行してきましたが、今期より特別委員会として取り組み、独自性をより発揮して市民の皆様へ議会だよりで審議された様子や各種調査等の結果をお伝えします。

年4回行われる定例会の終了後に、各条例案の審議・採決結果、請願等の審議、各常任委員会それぞれの調査研究等の紹介を掲載します。また、議員個々に行う一般質問について、各議員自ら、自身の行った一般質問の中から明らかになった事項等について、当局の考えを紹介しています。議会がどのような調査・研究・判断をしているのか、限られた紙面ではありますが、委員一人ひとりが創意工夫をもってお伝えしてまいります。

委員長 菅野広紀、副委員長 中野貴徳、委員 佐々木良麻、菅野秀一郎、小林卓、和田加代子、伊勢純
(菅野議会だより特別委員長)



気仙広域連合議会議員

気仙広域連合議会は、本市、大船渡市、住田町で構成されています。①し尿の収集、運搬及び処分、②要介護認定及び要支援認定に関する審査判定、③気仙広域連合ふるさと市町村圏基金の活用などの業務の審議や議決を行います。

本市からの選出議員…菅野秀一郎、和田加代子、伊勢純、伊藤明彦
(担当・伊勢純)

岩手沿岸南部広域環境組合議会議員

岩手県沿岸南部広域環境組合議会とは、釜石市にあるごみ焼却施設の運営にあたる一部事務組合の議会となっております。その構成は、本市のほか、釜石市、大船渡市、大槌町、住田町の3市2町で各議会から2、3名の議員が選任され、12名による議会となっております。施設の運用状況等について各市町からのごみ搬

入・焼却灰の搬出、周辺環境の各測定結果等の確認、施設管理計画等、施設全般が円滑に運営されているか審議します。

本市からの選出議員…木村聡、中野貴徳、菅野広紀
(担当・中野貴徳)

岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員

75歳以上と一定の障がいがある認定された65歳以上75歳未満の方を対象とした医療制度で、県内全市町村が参加して運営する「岩手県後期高齢者医療広域連合」が平成19年2月1日に設立されました。平成20年4月からは、保険料徴収などの窓口事務は市町村が行い、被保険者の資格の管理、保険料の賦課決定、医療の給付などの事務は広域連合が行っています。議員は33名で後期高齢者医療制度の計画、実施が円滑かつ安定的に行われ、適切に運営されているか監視します。
(佐々木一義連合議会議員)

慎重に審議し認定

令和4年度各種会計決算

第3回定例会

第3回定例会は、9月29日から10月20日まで行いました。一般会計歳入254億9882万円、歳出243億7164万円、差引11億2718万円の令和4年度一般会計決算と各種会計決算をはじめとした議案23件、報告2件を原案通り可決。請願2件は不採択。一般質問は8議員が行いました。

陸前高田市奨学金貸与条例の改正案について、給付型で返還義務の生じない奨学金制度について、現在奨学金を受けている学生に対しても減額すべきとの意見があり、運用開始時期により不利益にならないような周知と配慮が必要との意見が出ました。結果として奨学金給付事業費400万円は原案可決されました。

令和5年度一般会計補正予算(第3号)について、今後3年間の行政事務包括業務委託事業のうち、学校支援員の配置について、教育現場における不測の事態が生じた場合に、学校長が直接指示出

来ない状態が生ずることから、業務委託はなじまず、総合教育会議で十分な協議が必要との意見や特別な指導を必要とする子どもの支援は継続的な関わりが必要として現状で問題ないとの意見が出され、採決の結果賛成多数で5億5400万円の補正予算は可決されました。

請願は、「陸前高田市景観条例」と「屋外広告物条例」の見直しについて検討を求め、産業建設常任委員会に付託し審査されました。委員会から不採択と報告があり、本会議において委員会審査の内容について質疑が交わされ、市内全域の幹

線道路沿いを対象とすることが著しく個人の権利を制約することの妥当性、また近隣市町でも採用している岩手県の景観条例で十分ではないかとの意見も出されました。また、見直し時期の検討については、市当局の説明では猶予期間があり対応については協議する意向があることから、委員会審査では現段階での条例の見直しの検討は必要ないと

の結論に至りました。質疑の後、審議不十分として「委員会への再付託審査」の動議が出されましたが、動議は否決され、結果として請願は不採択となりました。
(担当・菅野広紀)

陸前高田市都市計画審議会委員

(R9年9月10日まで)
菅野 秀一郎
小林 卓
伊勢 純

陸前高田市民生委員推薦委員会

(R7年3月31日まで)
佐々木 一義
大坪 涼子

国道397号整備促進期成同盟会委員

(R9年9月10日まで)
及川 修一
大坂 俊

市政調査会

(R7年9月19日まで)
会長 伊藤 明彦
副会長 伊勢 純
理事 中野 貴徳
同 佐々木 一義
同 大坂 俊
同 藤倉 泰治
同 福田 利喜

第1回臨時議会

市議会議員選挙後、初めての議会を9月20日に開催し、正副議長選挙、各委員の選任のほか、議案2件の審議を行いました。本会議での投票の結果、議長選挙では、及川修一議員8票、福田利喜議員7票、伊藤明彦議員1票となりました。副議長選挙では、鶴浦昌也議員9票、中野貴徳議員7票となりました。議案2件は、次のとおりです。

監査委員を選任

市監査委員は2名で、うち1名を議員から選任しており、次の議員の選任に同意しました。

木村聡 議員

教育委員を任命同意

教育委員会は、教育長と4人の委員で構成され、議会の同意を得て市長が任命します。1名の委員の任期が9月30日で満了となることから、次の方を引き続き任命することに同意しました。

小友町 遠藤健司氏(57歳)

(担当・中野貴徳)